

今週のみことば

「主イエスの名に従う」

(ルカの福音書10章17節～20節)

「悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい」
(10:20)

仲森文穩

今日のメッセージ要旨

○イエス様が70人(72人)を選んで、まわりの町や村に遣わされたお話です。この70人(72人)は匿名となっています。そんな彼らが「敵のあらゆる力に打ち勝つ権威」をイエス様から受けて、福音を伝えるために遣わされていきます。この姿は、私たちと同じではないでしょうか。皆さんは万人祭司制という言葉をご存知だと思います。それは、イエス様の十字架によって罪を赦された私たち一人一人が等しくキリストの恵みのもとで、神様と直接まじわる祭司の務めを持って信仰生活を送っていく、という信仰の理念です。

その祭司のつとめは4点あります。①周りの人々に福音を運ぶこと。②互いにとりなしを祈ること。③互いに癒し合うこと。④愛の業につとめること、この4点です。これを忘れることなく、私たちも新しい一週間を歩み出すのです。もちろん、何もかも自分の力で頑張るものではありません。

私も長年、伝道牧会に携わってきましたが、神様に祈ることなく願うことなく、成し得たことなんて1つもありません。まさに子羊のごとくかよわい者が、困難の多いこの世に向かって、福音を伝えようと出ていくのですから、常にイエス様の導きを祈り求め、また聖霊の助けを祈り求めるほかありません。それが、私たちの歩みの原動力であり、力を与えられる源です。

○伝道に出かけた70人(72人)の弟子たちが帰ってきて、「あなたの御名を使うと、悪霊どもでさえ、私たちに服従します」と、成果を報告しました。出かける前はイエス様の福音の言葉がどこまで通用するのか、不安だったと思います。しかし彼らはイエス様のお言葉に従いました。イエス様の恵みは従ってみないと分かりません。ここで「御名を使う」という言い方に少し違和感を感じます。訳し方の問題かも知れませんが、ここは「御名に従う」と言ってほしかった。私たちがキリストを用いるのではなく、キリストが私たちを用いてくださるのです。

そんな彼らに、イエス様は「悪霊どもがあなたがたに服従するからといって、喜んではなりません。ただあなたがたの名が天に書きしるされていることを喜びなさい」と、答えられました。何を喜びとするのか、ですね。イエス様の名を使ったらこんなことができたと思ふのではなく、神様が彼らの名を天に記して下さっていることを働く喜びの基いとせよ、と言うのです。イエス様の恵みと救いを喜ぶのが第1。救いにあずかった私たちがどう生きるか、これが第2。いつもこの順序を忘れないことが、謙遜に生きる秘訣ではないでしょうか。

私たちはイエス様を信じ「いのちの書」にいち早く名前を書き記していただきました。このいのちの書に、もっと多くの人を、身近な方々の名をも書き記していただきたいとひたすら願います。小さな者ですが、神様のみ手によって伝道に用いていただき、小さな奇跡を見ることができたら、と日々願うものです。